

「膵癌術後再発後の予後不良因子の検討」に関する研究

1. 研究の対象

2015年1月1日から2020年12月31日の間に当院で膵癌に対して外科的切除術を施行後に再発をきたし、ゲムシタビン+ナブパクリタキセル併用療法またはFOLFIRINOX（レボホリナート・フルオロウラシル・イリノテカン・オキサリプラチン）療法を施行した患者さん

2. 研究目的・方法

近年膵癌に罹られた患者さんのうち、手術により切除ができない方や手術ができてその後再発してしまった方の治療法として、ゲムシタビンとナブパクリタキセルの併用療法やFOLFIRINOX（レボホリナート・フルオロウラシル・イリノテカン・オキサリプラチン）療法を行うことにより予後が改善してきています。しかし、再発した後の予後と採血による様々な検査値や栄養状態、レントゲンやCT画像等との関連についてははっきりしていません。今回、電子カルテや手術記録などの情報をもとに、膵癌が再発してしまった患者さんの予後を悪化させる原因は何かを探索します。

研究期間は病院長承認日から2021年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報録上に記載された手術関連情報、術前採血検査結果、術前画像検査結果、術後無再発生存期間、術後生存期間など

性別、年齢

血液学的検査: WBC, Hb, Ht, Plt, PT, APTT, リンパ球比、単球比

血液生化学検査: TP, Alb, T.bil, D.bil, ALP, AST, ALT, LDH, CPK, ChE, γ GTP, T.chol, TG,

BUN, Cre, Na, K, Cl, AMY, HbA1c, CEA, CA19-9

栄養学的指標: NLR (Neutrophil-lymphocyte ratio), LMR (Lymphocyte-monocyte ratio), PLR,

PNI (prognostic nutrition index)

術前画像検査: 術前腫瘍径、腫瘍部位

術後生存期間および無再発生存期間

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申

出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 消化器外科 木内亮太

住所：磐田市大久保 512-3

電話番号：0538-38-5000（代表）

研究責任者：上記